第50回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2018. 9. 13

『ヒルドイドフォーム 0.3%』

マルホ株式会社 後藤久幸さん

場所:コンパス薬局藤沢

参加者:熊山ともみ、木村亜希子、薦田麻理子、空田さやか

【効能・効果】

血栓性静脈炎 (痔核を含む)、血行障害に基づく疼痛と炎症性疾患 (注射後の硬結並びに疼痛)、凍瘡、肥厚性瘢痕・ケロイドの治療と予防、進行性指掌角皮症、皮脂欠乏症、外傷 (打撲、捻挫、挫傷)後の腫脹・血腫・腱鞘炎・筋肉痛・関節炎、筋性斜頸 (乳児期)

【用法・用量】

1日1回~2回(2回の方がより保湿力が持続したとのデータあり)

【禁忌】

出血性血液疾患(血友病、血小板減少症、紫斑病等)のある患者 僅少な出血でも重大な結果を来すことが予想される患者

【副作用】

皮膚炎、そう痒、発疹、潮紅等

【特徴】

- ・他のヒルドイド製品に比べ、唯一油分を含まないのでベタツキがない
- ・ヒルドイドソフト軟膏と保湿力は同じ
- 広範囲の患部に対しては塗りやすいので治療意欲が向上する
- ·一瓶 92g
- 捨てる際はガス抜きの必要性あり

【考察】

ベタつきが気になる患者さんにとっては保湿をまめにすることが苦痛になるこ

とがある。特に乾燥肌の方にとっては保湿での皮膚バリアが治療の中心になってきているので、できるかぎり不快感を取り除くことが重要である。

薬局にてもし患者さんからべたつきについての訴えがあった場合、唯一油分を 含んでいないタイプで伸びのよいヒルドイドフォームを勧めたいと考える。

[Q&A]

Q:ヒルドイドフォームのジェネリックはどの製剤と対応するのか

A: ヘパリン類似物質スプレー、ヘパリン類似物質泡状スプレー (剤形としては スプレー剤に分類される)